

「ゆーすぴあボランティア塾」 (応用編)

★事業の概要★

事業のねらい

1. ボランティア活動を行う上で必要な知識・技術について講義、実習をと
おして習得する。
2. 青年が、様々な世代との関わりをとおして生き抜く力を身につける。

期 日

平成27年10月3日(土) ～ 10月4日(日)

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

高校生以上でボランティア活動に興味関心のある方

参加者数：参加募集人数

22名：20名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員

日 程

	13:30	14:00	15:00	17:00	18:30	20:00	22:00
10/3 (土)	13:00 受付	開 会 式	ボラン ティ ア活 動の 心 構 え	ボラン ティ ア活 動の 実 際 (企 画・ 準 備)	つ ど い 夕 食	ボラン ティ ア活 動の 実 際 (企 画・ 準 備)	休 憩 入 浴 就 寝
	7:15	7:30	9:00	12:00	15:00		
10/4 (日)	つ ど い	朝 食	ボラン ティ ア活 動の 実 際 (運 営)	昼 食	ボラン ティ ア活 動の 実 際 (運 営)	ま と め	15:30 解 散

★プログラム紹介★



「ボランティア活動の実際（企画・準備）」

事前準備を行ってきた企画委員から説明を受け、各コーナーの運営準備を行った。



「ボランティア活動の実際（運営）」

【いろいろ結び】コーナー

子供たちに、靴紐やエプロンの蝶結びを体験的に学ばせた。



「ボランティア活動の実際（運営）」

【小麦粉の風船人形づくり】コーナー

子供たちに、風船に小麦を入れる方法を考えさせながら人形づくりに挑戦させた。



「ボランティア活動の実際（運営）」

【あいさつ×マシュマロ焼き】コーナー

子供たちに挨拶に関するクイズを出題し、景品として焼きマシュマロを提供した。



「ボランティア活動の実際（運営）」

【べっこうあめづくり】コーナー

加熱による色の変化を観察させながら、べっこうあめづくりに挑戦させた。



「まとめ」

新しい公共型のボランティアの魅力について意見交流を行った。

企画・運営のポイント

同時期に実施した「ゆーすフェスタ2015」に出店するコーナーの運営をとおして、「新しい公共」型のボランティア活動の実際を体験的に学べるようにした。

出店するコーナーの企画から関わることができるように、企画委員による事前会議を実施するところから研修をスタートさせた。

事業を終えて（成果と課題）

「新しい公共」型のボランティア活動（参画型ボランティア）の実際について体験的に学ぶことをとおして、ボランティア活動の基本となる考え方について効果的に研修を深めることができた。

企画委員の事前会議は、ソーシャルネットワーク（LINE）を活用したネット会議を実施したが、議論を深めるために長い時間を要した。

今後の方向性

今回の学びを、他事業のボランティア活動へ広げていけるよう、各事業において、ボランティア養成の視点を職員間で共有する。

登録ボランティアの参画機会を増やすため、ニーズを把握する。